

業界トピックス**【製造業】**

- ・受注単価が下がる。従業員不足だが、最低賃金の上昇もあり、零細のため対応が厳しい状況。【卒業アルバム、カレンダー製造】
- ・全体的に不景気(円高の影響大)。タイの洪水の特需あり。今後国内の特需に期待したい。【プラスチック製品】
- ・国内設備投資の不況感が継続。【超音波機器】
- ・日本人に多い「将来への不安感」や「来年は景気が悪くなる」といった悲観的な見方は何とかならないものか。【金属表面処理】
- ・国内製造業の海外流出。【基盤画像検査機器】
- ・長引く不況。先行き不透明な事への不安感。【機会設備】
- ・半導体製造装置の減少が大きい。回復の兆しが出てきているが来年3月以降と考えている。【電子機器、プリント回路基板】
- ・受注案件はあるが、すぐに売上に繋がらないため、地道な努力が必要。【電子機器】
- ・業界が直面する問題に対応できる経営が実現しつつある。【薬剤】
- ・震災の影響で顧客の設備投資が鈍っていたが、ここへきてその反動か、活発になっている感がある。【計測装置】

【建設業】

- ・不況を感じる。【道路補修工事】
- ・受注が今ひとつ安定せず、近況すら読みきれない状況。【建築リフォーム】
- ・受注金額の減少(従来より値引額が増大)。粗利益率の低下。【電気設備工事】
- ・今期の年末は好調な気がするが、年度末までの4ヶ月近くは、全般的に厳しくなると思う。受注、売上はまずまずの数字だが、やはり収益率は低下している。【給排水設備工事】
- ・注文が減少。【建築板金】
- ・工事における需給バランスと価格バランスが合っていない。【左官工事】
- ・受注単価の低下。【管工事】
- ・公共工事において過当競争が加速する中、業者の売上・収益減によって納税額も減少、更に発注も減少する悪循環が続くと思う。【給排水設備工事】

【小売・卸売業】

- ・特に飲食関係への納品が減少。【食肉類卸売】
- ・メディアが不景気感をあおりすぎでは。【婦人服小売】
- ・大規模店舗、チェーン店に有利な経済状況になっている。【生活雑貨、酒類小売】
- ・なんとか経費を節約し、売上増加策に取り組む。【食品類小売】
- ・消費者が、物ではなく、人との交流や学習関係にお金を費やしているように思う。【服飾卸売】
- ・やや上向いてきているが、大企業の進出が気になる。【自動車部品卸売】
- ・取引先(仕入先)の品薄状態があり、この先が心配。【陶器類、雑貨類小売】
- ・補助金政策は後の為によくない。【家電小売】
- ・個人商店(卸先)の販売不振。【食品卸売】
- ・顧客の高齢化、新しいものへの対応ができていない。【自転車卸売】

【飲食・サービス業】

- ・市場規模の縮小。【コンサルティング】
- ・マーケットが小さい割に同業者が多く、価格の下落が続いている。【レンタル】
- ・代金回収が厳しくなった。【税理士】
- ・消費者の買い控えを感じる。【リース】
- ・不動産に対する購買意欲が少なくなった。【不動産】
- ・開発案件が激減。受注単価の低下。【ソフトウェア開発】
- ・受注が全体的に減少。【運送】
- ・消費税の増税が心配。消費者だけでなく、事業者側にも負担になる。(値上げできないなど)【菓子類販売】
- ・納税資金へのキャッシュの流出を単年度の売上でリカバーするのが大変。【不動産】
- ・短納期化が進んでおり、収益率が落ちている。新規雇用もしたいが望むような応募者がいない。特に20～30代が極端に少ない。【機械開発支援】
- ・震災の影響がいまだにある。仕入価格の上昇にも今後まだまだ悩まされそう。【和食店】